

令和４年度 上半期
四国中央市工業用水道事業
業務状況説明書

令和４年 ４月 １日から

令和４年 ９月３０日まで

四国中央市水道局

目 次

令和４年度上半期（令和４年４月１日～令和４年９月３０日）の 業務の状況

１ 事業の概況	１
２ 経理の状況	１
予算の執行状況	１
(１) 収益的収入及び支出	１
(２) 資本的収入及び支出	１

前年度の決算の状況

３ 令和３年度四国中央市工業用水道事業会計決算の状況 ...	２
(１) 概要	２
(２) 決算報告書	３
(３) 損益計算書	７
(４) 剰余金計算書	８
(５) 貸借対照表	９
(６) 決算に関する注記	１１

1 事業の概況（令和4年9月30日現在）

	給水事業所数	上半期総責任給水量	一日平均責任給水量
新宮工業用水道	33 工場	47,442,750 m ³	259,250 m ³
柳瀬工業用水道	18 工場	38,356,800 m ³	209,600 m ³
富郷工業用水道	26 工場	19,140,810 m ³	104,595 m ³

2 経理の状況

予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

科目	予算額 (A) 円	上半期執行額 (B) 円	執行率 (B/A) %
新宮工業用水道事業収益	1,073,200,000	525,244,205	48.9
営業収益	1,045,304,000	524,858,400	50.2
うち給水収益	1,042,494,000	524,858,400	50.4
営業外収益	27,886,000	385,805	1.4
特別利益	10,000	0	0.0
柳瀬工業用水道事業収益	204,000,000	101,897,503	50.0
営業収益	202,112,000	101,815,276	50.4
うち給水収益	201,970,000	101,815,276	50.4
営業外収益	1,878,000	82,227	4.4
特別利益	10,000	0	0.0
富郷工業用水道事業収益	2,240,800,000	1,058,954,162	47.3
営業収益	2,118,366,000	1,058,751,650	50.0
うち給水収益	2,102,254,000	1,058,751,650	50.4
営業外収益	122,424,000	202,512	0.2
特別利益	10,000	0	0.0
収入合計	3,518,000,000	1,686,095,870	47.9
新宮工業用水道事業費用	741,700,000	223,170,663	30.1
営業費用	674,956,000	223,140,127	33.1
営業外費用	64,735,000	30,536	0.1
特別損失	110,000	0	0.0
予備費	1,899,000	0	0.0
柳瀬工業用水道事業費用	142,800,000	34,199,455	24.0
営業費用	124,171,000	32,691,826	26.7
営業外費用	16,664,000	1,507,629	9.1
特別損失	110,000	0	0.0
予備費	1,855,000	0	0.0
富郷工業用水道事業費用	1,812,500,000	319,997,304	17.7
営業費用	1,487,896,000	234,651,628	15.8
営業外費用	322,674,000	85,345,676	26.5
特別損失	110,000	0	0.0
予備費	1,820,000	0	0.0
支出合計	2,697,000,000	577,367,422	21.4

(2) 資本的収入及び支出

科目	予算額 (A) 円	上半期執行額 (B) 円	執行率 (B/A) %
柳瀬工業用水道事業建設改良費	1,200,000	940,952	78.4
企業債償還金	1,066,234,000	835,527,076	78.4
予備費	2,566,000	0	0.0
支出合計	1,070,000,000	836,468,028	78.2

3 令和3年度四国中央市水道事業会計決算の状況

(1) 概況

1. 総括事項

ア 業務関係

1日当たり給水能力591,600m³に対する年度末契約給水量は573,970m³で契約率は97.02%、契約件数は38工場となっています。本年度は、260日間の長く厳しい節水を余儀なくされました。

イ 工事関係

改良工事として、赤之井川自流観測装置更新工事16百万円を実施しました。

ウ 経理関係

(ア) 収益的収支関係

本年度は、前年度に比べ純利益は29百万円増加し912百万円を計上しており安定した経営を継続しています。今後も施設の投資計画に基づき老朽化対策や耐震化対策を進め安定供給を目指してまいります。

(イ) 資本的収支関係

本年度の収入は共同施設更新工事負担金2百万、支出額は947百万円で差引収入不足額945百万円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、建設改良積立金、過年度分・当年度分損益勘定留保資金で補てんしています。

(契約率、純利益の推移)

	H29	H30	R1	R2	R3
契約率 (%)	96.91	96.90	97.02	97.02	97.02
純利益 (百万円)	1,059	1,060	828	883	912

2. 経営指数に関する事項

令和3年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は前年度比1.71ポイント増の139.58%となり、健全経営の水準とされる100%を上回っています。また、料金水準の妥当性を示す料金回収率は前年度比1.63ポイント増の140.83%となり、前年度と同様、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況です。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比1.28ポイント増の61.22%となりました。将来の更新需要に備え、現在の経営状況を維持しつつ、引き続き計画的な施設更新を行ってまいります。

(経営指数の推移)

	H29	H30	R1	R2	R3
経常収支比率 (%)	144.57	144.67	134.44	137.87	139.58
料金回収率 (%)	146.33	146.54	135.64	139.20	140.83
有形固定資産減価償却率 (%)	57.36	58.48	58.94	59.94	61.22

(2)決算報告書

◆ 令和3年度四国中央市工業用

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予 算		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支出額 に係る財源充当額
	円	円	円
第1款 新宮工業用水道事業収益	1,086,300,000	0	0
第1項 営 業 収 益	1,058,553,000	0	0
第2項 営 業 外 収 益	27,737,000	0	0
第3項 特 別 利 益	10,000	0	0
第2款 柳瀬工業用水道事業収益	203,800,000	0	0
第1項 営 業 収 益	202,108,000	0	0
第2項 営 業 外 収 益	1,682,000	0	0
第3項 特 別 利 益	10,000	0	0
第3款 富郷工業用水道事業収益	2,240,000,000	0	0
第1項 営 業 収 益	2,117,583,000	0	0
第2項 営 業 外 収 益	122,407,000	0	0
第3項 特 別 利 益	10,000	0	0
合 計	3,530,100,000	0	0

支 出

区 分	予 算				
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地企24項に支 方業条の 公法第規 よ 出 定 る 額
	円	円	円	円	円
第1款 新宮工業用水道事業費用	831,000,000	0	0	0	0
第1項 営 業 費 用	771,383,000	0	0	△1,575,441	0
第2項 営 業 外 費 用	57,984,000	0	0	1,575,441	0
第3項 特 別 損 失	20,000	0	0	0	0
第4項 予 備 費	1,613,000	0	0	0	0
第2款 柳瀬工業用水道事業費用	136,300,000	0	0	0	0
第1項 営 業 費 用	119,796,000	0	0	△1,773,722	0
第2項 営 業 外 費 用	14,687,000	0	0	1,773,722	0
第3項 特 別 損 失	20,000	0	0	0	0
第4項 予 備 費	1,797,000	0	0	0	0
第3款 富郷工業用水道事業費用	1,812,700,000	0	0	0	0
第1項 営 業 費 用	1,482,487,000	0	0	△3,824,612	0
第2項 営 業 外 費 用	328,564,000	0	0	3,824,612	0
第3項 特 別 損 失	20,000	0	0	0	0
第4項 予 備 費	1,629,000	0	0	0	0
合 計	2,780,000,000	0	0	0	0

水道事業会計決算報告書

額	決 算 額	予 算 額 に 比 決 算 額 の 増 減	備 考
合 計			
円	円	円	
1,086,300,000	1,082,137,770	△4,162,230	仮受消費税及び地方消費税額 96,277,348円
1,058,553,000	1,054,980,994	△3,572,006	
27,737,000	27,156,776	△580,224	
10,000	0	△10,000	
203,800,000	203,703,040	△96,960	仮受消費税及び地方消費税額 18,383,020円
202,108,000	201,975,221	△132,779	
1,682,000	1,727,819	45,819	
10,000	0	△10,000	
2,240,000,000	2,238,943,573	△1,056,427	仮受消費税及び地方消費税額 192,419,752円
2,117,583,000	2,116,364,286	△1,218,714	
122,407,000	122,579,287	172,287	
10,000	0	△10,000	
3,530,100,000	3,524,784,383	△5,315,617	仮受消費税及び地方消費税額 307,080,120円

額			決 算 額	地方公営 企業法第 26条第2 項の規定 による 繰 越 額	不 用 額	備 考
小 計	地方公営 企業法第 26条第2 項の規定 による 繰 越 額	合 計				
円	円	円	円	円	円	
831,000,000	0	831,000,000	737,106,931	0	93,893,069	仮払消費税及び地方消費税 37,593,355円
769,807,559	0	769,807,559	677,547,490	0	92,260,069	
59,559,441	0	59,559,441	59,559,441	0	0	
20,000	0	20,000	0	0	20,000	
1,613,000	0	1,613,000	0	0	1,613,000	
136,300,000	0	136,300,000	106,256,473	0	30,043,527	仮払消費税及び地方消費税 4,130,210円
118,022,278	0	118,022,278	89,795,751	0	28,226,527	
16,460,722	0	16,460,722	16,460,722	0	0	
20,000	0	20,000	0	0	20,000	
1,797,000	0	1,797,000	0	0	1,797,000	
1,812,700,000	0	1,812,700,000	1,767,671,868	0	45,028,132	仮払消費税及び地方消費税 38,376,571円
1,478,662,388	0	1,478,662,388	1,435,283,256	0	43,379,132	
332,388,612	0	332,388,612	332,388,612	0	0	
20,000	0	20,000	0	0	20,000	
1,629,000	0	1,629,000	0	0	1,629,000	
2,780,000,000	0	2,780,000,000	2,611,035,272	0	168,964,728	仮払消費税及び地方消費税 80,100,136円

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 の 規 定 に よ る 繰 越 額 に 係 る 財 源 充 当 額
第 1 款 資 本 的 収 入	円 2,880,000	円 0	円 2,880,000	円 0
第 1 項 負 担 金	2,880,000	0	2,880,000	0

支 出

区 分	予 算						
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 の 規 定 に よ る 繰 越 額	継 続 費 第 1 次 繰 越 額	通 次 繰 越 額
第 1 款 資 本 的 支 出	円 1,010,000,000	円 0	円 0	円 1,010,000,000	円 0	円 0	円 0
第1項 新 宮 工 業 用 水 道 事業 建設 改良 費	170,000	0	0	170,000	0	0	0
第2項 柳 瀬 工 業 用 水 道 事業 建設 改良 費	24,170,000	0	0	24,170,000	0	0	0
第3項 富 郷 工 業 用 水 道 事業 建設 改良 費	53,346,000	0	0	53,346,000	0	0	0
第4項 企 業 債 償 還 金	929,703,000	0	0	929,703,000	0	0	0
第5項 予 備 費	2,611,000	0	0	2,611,000	0	0	0

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額944,800,378円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支104,721,699円、当年度分損益勘定留保資金318,333,844円で補てんした。

額		合 計	決 算 額	予 算 額 比 算 への 増 減	備 考
継 続 費 通 次 繰 越 額 に 係 る 財 源 充 当 額					
円	円	円	円	円	
0	2,880,000	1,892,880	△987,120	仮受消費税及び地方消費税	
0	2,880,000	1,892,880	△987,120		172,080

額	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
合 計		地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰 越 額	継続費 通 次 繰越額	合 計		
		円	円	円		
円 1, 010, 000, 000	円 946, 693, 258	円 0	円 0	円 0	円 63, 306, 742	仮払消費税及び地方消費税 1, 543, 703円
170, 000	161, 700	0	0	0	8, 300	仮払消費税及び地方消費税 14, 700円
24, 170, 000	15, 942, 300	0	0	0	8, 227, 700	仮払消費税及び地方消費税 1, 449, 300円
53, 346, 000	888, 000	0	0	0	52, 458, 000	仮払消費税及び地方消費税 79, 703円
929, 703, 000	929, 701, 258	0	0	0	1, 742	
2, 611, 000	0	0	0	0	2, 611, 000	

調整額1,371,623円、減債積立金507,454,012円、建設改良積立金12,919,200円、過年度分損益勘定留保資金

(3)損益計算書

◆令和3年度四国中央市工業用水道事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 給水収益	3,042,472,062		
(2) 受託管理収益	24,182,938		
(3) その他営業収益	0	3,066,655,000	
2 営業費用			
(1) 原水費	770,137,400		
(2) 配水及び給水費	159,172,901		
(3) 総係費	35,505,109		
(4) 減価償却費	1,157,225,496		
(5) 資産減耗費	555,455		
(6) その他営業費用	0	2,122,596,361	
営業利益			944,058,639
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	551,545		
(2) 受託管理収益	3,627,273		
(3) 長期前受金戻入	146,174,654		
(4) 雑収益	695,857	151,049,329	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	182,030,475		
(2) 受託管理費	700,000		
(3) 雑支出	5	182,730,480	△31,681,151
経常利益			912,377,488
5 特別利益			
(1) その他特別利益	0		
6 特別損失			
(1) その他特別損失	0	0	0
当年度純利益			912,377,488
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			520,373,212
当年度未処分利益剰余金			1,432,750,700

(4)剰余金計算書

◆令和3年度四国中央市工業用水道事業剰余金計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

	資本金	剰余金						資本合計
		資本剰余金		利益剰余金				
		その他 資本剰余金	資本剰余 金合計	減債 積立金	建設改良 積立金	未処分利益 剰余金	利益剰余 金合計	
前年度末残高	13,609,087,175	138,881,137	138,881,137	125,703,456	1,718,353,763	1,422,338,047	3,266,395,266	17,014,363,578
前年度処分額	539,335,168	0	0	454,225,982	428,776,897	△ 1,422,338,047	△ 539,335,168	0
議会の議決による処分額	539,335,168	0	0	454,225,982	428,776,897	△ 1,422,338,047	△ 539,335,168	0
減債積立金の積立て	0	0	0	454,225,982	0	△ 454,225,982	0	0
建設改良積立金の積立て	0	0	0	0	428,776,897	△ 428,776,897	0	0
自己資本金への組入れ	539,335,168	0	0	0	0	△ 539,335,168	△ 539,335,168	0
処分後残高	14,148,422,343	138,881,137	138,881,137	579,929,438	2,147,130,660	(繰越利益剰余金) 0	2,727,060,098	17,014,363,578
当年度変動額	0	0	0	△ 507,454,012	△ 12,919,200	1,432,750,700	912,377,488	912,377,488
減債積立金の取崩	0	0	0	△ 507,454,012	0	507,454,012	0	0
建設改良積立金の取崩	0	0	0	0	△ 12,919,200	12,919,200	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0	912,377,488	912,377,488	912,377,488
当年度末残高	14,148,422,343	138,881,137	138,881,137	72,475,426	2,134,211,460	当年度未処分利益剰余金 1,432,750,700	3,639,437,586	17,926,741,066

◆令和3年度四国中央市工業用水道事業剰余金処分計算書

(単位:円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	14,148,422,343	138,881,137	2,206,686,886	1,432,750,700
議会の議決による処分額	520,373,212	0	912,377,488	△ 1,432,750,700
減債積立金の積立て	0	0	567,361,349	△ 567,361,349
建設改良積立金の積立て	0	0	345,016,139	△ 345,016,139
自己資本金への組入れ	520,373,212	0	0	△ 520,373,212
条例による処分額	0	0	0	0
処分後残高	14,668,795,555	138,881,137	3,119,064,374	(繰越利益剰余金) 0

(5)貸借対照表

◆令和3年度四国中央市工業用水道事業貸借対照表

(令和4年3月31日)

	資	産	の	部
	円		円	円
1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
イ 土地			385,370,696	
ロ 建物	395,937,811			
減価償却累計額	<u>△186,266,089</u>	209,671,722		
ハ 構築物	11,769,895,695			
減価償却累計額	<u>△6,674,939,480</u>	5,094,956,215		
ニ 機械及び装置	1,991,471,587			
減価償却累計額	<u>△1,781,635,797</u>	209,835,790		
ホ 車両運搬具	7,228,260			
減価償却累計額	<u>△5,026,226</u>	2,202,034		
ヘ 工具器具及び備品	77,399,914			
減価償却累計額	<u>△70,894,986</u>	6,504,928		
有形固定資産合計			5,908,541,385	
(2) 無形固定資産				
イ 早明浦ダム使用権		169,283,500		
ロ 新宮ダム使用権		601,885,110		
ハ 富郷ダム使用権		27,433,370,771		
ニ 施設利用権		<u>50,300</u>		
無形固定資産合計			<u>28,204,589,681</u>	
固定資産合計				34,113,131,066
2 流動資産				
(1) 現金預金		5,021,555,704		
(2) 未収金		0		
(3) 貯蔵品		766,810		
(4) 前払金		0		
(5) その他流動資産		<u>4,000,000</u>		
流動資産合計			<u>5,026,322,514</u>	
資産合計				<u><u>39,139,453,580</u></u>

負 債 の 部			
	円	円	円
3 固 定 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に充て るための企業債	16,023,126,291	16,023,126,291	
(2) 引 当 金			
イ 特別修繕引当金	126,717,712	126,717,712	
固 定 負 債 合 計			16,149,844,003
4 流 動 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に充 てるための企業債	466,232,770	466,232,770	
(2) 未 払 金			
イ 営 業 未 払 金	15,954,448		
ロ 営 業 外 未 払 金	61,519,400	77,473,848	
(3) 引 当 金			
イ 賞 与 引 当 金	8,458,000	8,458,000	
(4) その他流動負債		4,000,000	
流 動 負 債 合 計			556,164,618
5 繰 延 収 益			
長 期 前 受 金		8,800,452,267	
収 益 化 累 計 額		△4,293,748,374	
繰 延 収 益 合 計			4,506,703,893
負 債 合 計			21,212,712,514
資 本 の 部			
6 資 本 金			
(1) 資 本 金		14,148,422,343	
資 本 金 合 計			14,148,422,343
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ その他資本剰余金	138,881,137		
資 本 剰 余 金 合 計		138,881,137	
(2) 利 益 剰 余 金			
イ 減債積立金	72,475,426		
ロ 建設改良積立金	2,134,211,460		
ハ 当年度未処分利益剰余金	1,432,750,700		
利 益 剰 余 金 合 計		3,639,437,586	
剰 余 金 合 計			3,778,318,723
資 本 合 計			17,926,741,066
負 債 資 本 合 計			39,139,453,580

(6) 決算に関する注記

1 重要な会計方針に関する注記

(1) たな卸資産の評価方法

イ たな卸資産の評価方法は、先入先出法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産の償却方法は、定額法を採用している。

ロ 無形固定資産の償却方法は、定額法を採用している。

(3) 引当金の計上方法

イ 退職給付引当金

本市では退職手当組合に加入しており、工業用水道事業会計は一般会計を通じて、当該組合に掛金を拠出しているが、追加的負担は全額一般会計において措置するため、工業用水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

ロ 賞与引当金

職員の期末手当、勤勉手当及び共済組合負担金の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 消費税及び地方消費税の会計処理

イ 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2 その他の注記

(1) 特別修繕引当金に関する経過措置

平成 26 年 3 月 31 日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。